

法華寺だより



開山上人第七十九回忌



ちた七十五歳の生涯を終えた。

明治四十三年、内山智耀上人は、長崎本蓮寺の名誉ある役僧の地位を捨てて来帯し当山を開きました。叔父内山幸太郎翁の度重なる熱烈なる招聘と法華経弘通の使命感によるものでしょう。

長崎の由緒ある寺の役僧を勤めていた上人、更に大阪の木材問屋のお嬢様として育ったハツ夫人にとつは極めて厳しい日々であったことでしょう。

幸太郎叔父の深い信仰心と上人夫妻の熱心な布教活動は徐々に実を結び、今日の確固たる基盤を形成。

昭和十二年五月六日、ハツ夫人らに看取られ享年六十三歳で終命した。

後継の第四世内山智承やその寺庭夫人スミ等による寺経営を見守り続けたハツも、昭和三十一年波乱に満ちた七十五歳の生涯を終えた。

テニアン島慰霊の旅

①

三月末、テニアン島にて戦没者慰霊法要が行われ参加しました。

テニアン島は、西太平洋北マリアナ諸島の小島で直ぐ近くにサイパン島があります。戦前は一万五千人以上の日本人が住み、砂糖や鯉節等を生産していました。旧日本軍の軍事拠点でもあったため非常に悲惨な戦闘の場となり、およそ八千人以上の将兵が戦没



今年もコブシの花がたくさん咲きました。花びらが少し小さいような気がしますが、豊作の年は花がたくさん咲くそうです。

しました。現在も厚労省等による遺骨収集が行われています。二十年前、名古屋の篤志家によりお題目の慰霊塔とそこへつながる道路が整備されました。



ご案内

五月

- 六日 開山上人第七十九回 正当命日法要
- 十三日 境内清掃とお花見の宴
- 二十七日 帯広仏教徒連合花祭り

六月

- 十三日 行学会・外掃除
- 十八日 三大尊神大祭

心といのちの相談所
老若男女幾つになっても悩み
や心配事の絶えないもの
……ご来所やお電話を……

TEL 二二三四〇三三三

今月の聖語

しゅんめ
駿馬にも

むち ことわり
鞭うつの理

これあり

【励ましと受容】

優れた才能も努力しなければ埋もれてしまします。その様などとき、周囲の強い励ましは、期待の表れでもあるのです。柔和に受け止め、自分のものにすれば才能開花するのです

「問注得意鈔」より

日蓮聖人御遺文

覚書

四月

八日 釈尊降誕花祭り
十九日 宗務所来山
二十五日 東部教師総会
二十七日 帯刑教悔



一 休 み

●「日蓮宗信行読本」より（拾い読み）●

第四章 日蓮宗の葬儀と追善供養

1 日蓮聖人は死をどのように見られていたか

(3) 死んだあとはどうなるのでしょうか ②

仏教の「四有説」の「本有（ほんう）」は、今生の生命活動を続ける期間で魂を磨く大切な時期です。「死有（しう）」は死ぬ瞬間の時、今生の総決算がされます。「中有（ちゆう）」は、いわゆる霊界とも見なされる世界で、靈魂が反省し来世への準備を整えるところと見なされます。

この中有の世界は十界に分けて説明されます。地獄界、餓鬼界、畜生界、修羅界、人間界、天上界、声聞界、縁覚界、菩薩界、仏界の十界となります。

「奉仕」に感謝

☆様 仏花 ☆

法華和讃

(四十四)

悪念のしこみし毒も忽に

消えて小室の山の曙

なむみようほうれんげきよう

南無妙法蓮華經

妙法和讃

しかし、この十界を一言で表現すると

「心の違いによる十の世界」とも言えます。パチンコの好きな人はパチンコ店に集まり、音楽の好きな人は演奏会場などと、その心の好むところに集まります。

生前の身（しん）・口（く）・意（い）の三業の果報として現れるのが死後の世界なのです。

日蓮聖人は、生きているときに法華經の修行をした人は「死ぬことを楽しみにしていなさい。あまりに喜びに満ちた世界なのでびっくりなされますよ」と説かれています。

編集後記

◆「無葬社会」という本を読んだ ◆「死亡↓葬儀↓火葬」という流れが一般的と思っている小生にとつては ◆東京などの大都会では大変な状況になっている ◆その間の安置場所は？費用は？ ◆その間のために専用のホテルまである ◆火葬後の諸事情も様変わりしつつあるようです ◆そんなところでは死にたくない ◆

三 私見

【悪念の……】

身延にほど近い小室山で修験者の善智法印と法論を戦わしてこれを起伏させました。しかし、法印は毒入りまんじゅうで聖人を毒殺しようとしたが、これも見破られ、心より罪を悔い改める。この後、聖人の良き弟子となる。

参照・引用

- ※日蓮聖人聖語カレンダー
- ※「日蓮検定」
- ※「日蓮宗新聞」
- ※「日蓮と日蓮宗」
- ※「仏教語散步」等々

